

富山県西部・富山八尾中核工業団地・利賀川工業用水道事業の紹介

○事業の主旨

富山県企業局では、良質で低廉豊富な工業用水の安定供給に資するため、県西部地域を中心に3事業で給水を行っており、本県既存企業及び新規立地企業の工業用水需要に応じて産業の健全な発展と地下水障害の防止に大きな役割を果たしている。

○事業の経緯

富山県営工業用水道事業は、新産業都市建設計画に基づく富山新港背後地の臨海工業地帯造成に伴う高岡市・射水市の立地企業等へ工業用水を供給するため、和田川工業用水道事業（水源：庄川水系境川ダム、昭和39年度着工、昭和46年7月給水開始、昭和50年度施設完成）として開始した。

さらに、和田川工業用水道事業の補完給水と富山地区の工業地帯への給水を行うため実施してきた神通川工業用水道事業（昭和48年度着工、昭和54年4月給水開始）と平成10年10月に事業統合を行い、富山県西部工業用水道事業に改称したところであり、現在の給水能力は日量400,000m³となっている。

富山八尾中核工業団地工業用水道事業は、富山テクノポリス計画の中核をなす先端技術産業の企業立地が進められている富山八尾中核工業団地への立地企業への給水を目的として昭和57年度に着工し、昭和59年10月より一部給水を開始している（水源：地下水）。現在の給水能力は、日量5,510m³となっている。

利賀川工業用水道事業は、砺波地域の産業発展のため工業用水を確保することを目的として、その水源を国土交通省が建設している庄川水系利賀川の利賀ダムに求め、平成16年12月より給水を開始している（現在の暫定水源：庄川水系境川ダム）。給水能力は日量8,200m³である。

○給水系統を含む給水区域図

次ページのとおり

○ユーザーの概要

（平成20年3月末現在）

業種	給水件数	契約水量 (m ³ /日)
食料品・繊維	7	10,354
パルプ・紙	3	90,320
化学工業	8	49,350
医薬品	10	16,640
石油・電力	3	9,648
窯業・土石	4	860
鉄鋼	3	14,928
非鉄金属	10	9,852
金属製品	15	39,278
電気機械	5	1,546
輸送機械	1	4,540
その他	25	8,868
計	94	256,184

○工業用水道施設の概要

西部工業用水道事業の主要な浄水場である和田川浄水場では庄川の河川水を和田川共同水路を経て、和田川ダムで取水し、浄水した後、自然流下方式を基本に、富山市・高岡市・射水市のユーザーに給水している。

富山八尾中核工業団地工業用水道事業は、神通川水系井田川沿いで取水した地下水を、富山市八尾町の山麓にある中核工業団地まで（距離5.8km）ポンプアップして送水している。

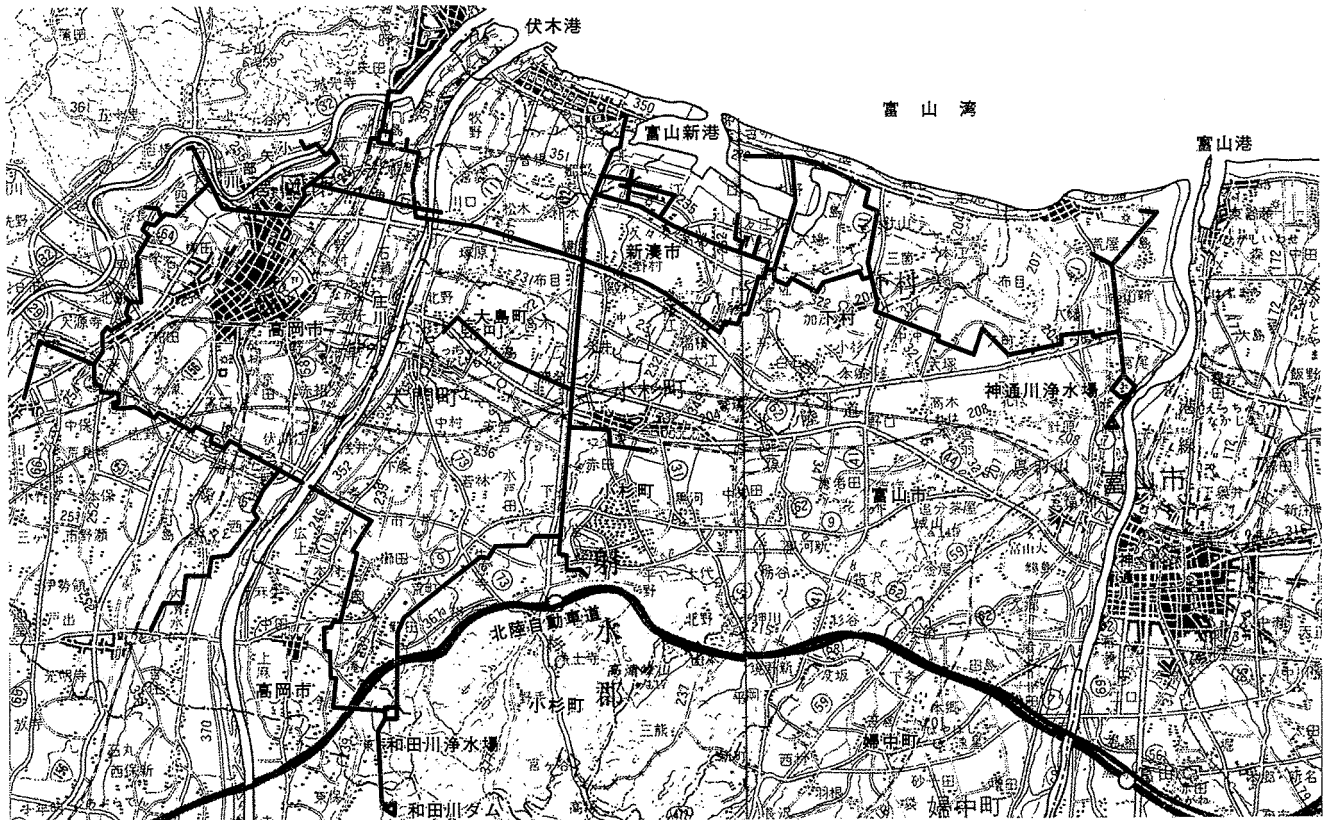
利賀川工業用水道事業は、庄川の河川水を前述の和田川共同水路から分岐・導水して浸透池（人工池）に注入し、地下に浸透させたうえで下流の浅井戸で取水して、ユーザーに給水している。（これを「浸透池方式」といい、欧米では古くからこの方式により水道事業が実施されている。）

○事業の特徴

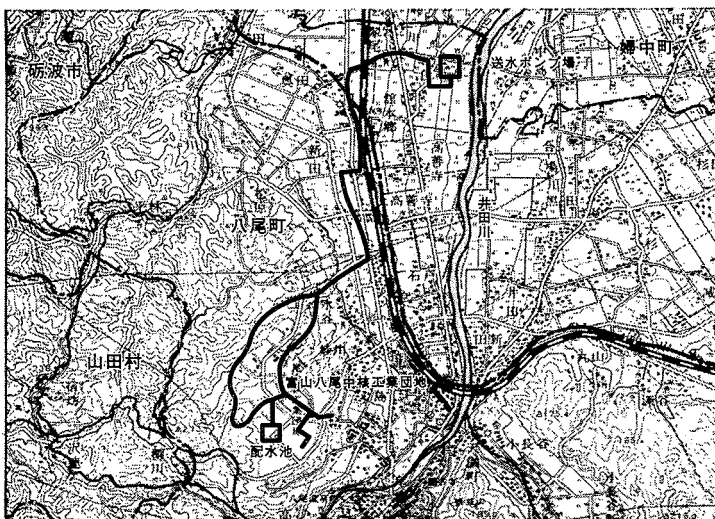
利賀川工業用水道事業では、井戸涸れなどにより住民生活に支障を及ぼすことがないように地下水環境保全の観点から、国内で初めて「浸透池方式」を採用している。

○富山県企業局のホームページアドレス
http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/71/index.html

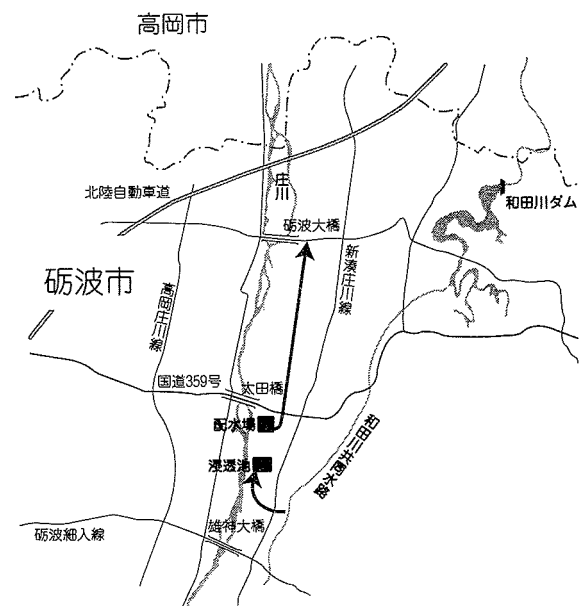
○富山県西部工業用水道事業概要図



○富山八尾中核工業団地工業用水道事業概要図



○利賀川工業用水道事業概要図



※市町村合併による名称の変更について

- 1) 平成17年4月1日より
 富山市, 婦中町, 八尾町, 山田村→富山市へ
- 2) 平成17年11月1日より
 新湊市, 大島町, 小杉町, 下村→射水市へ